

(業務方法書 様式第 11 号)

参考様式第 13-1 号 (実施要領参考様式第 13-1、13-2、14 号関連)

番 号
年 月 日

岡山県燃油価格高騰緊急対策協議会会長 殿

所在地
取組実施者名
代表者氏名

令和 年度肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書

肥料価格高騰対策事業実施要領 (令和 3 年 12 月 20 日付け 3 農産第 2156 号農林水産省農産局長通知) 第 13 の 2 の規定に基づき、別添のとおり報告する。

(添付資料)

- ・業務方法書様式第 11-1 号
- ・業務方法書様式第 11-2 号
- ・その他中国四国農政局長等が必要と認める書類

肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書

第1 取組実施者名

--

第2 事業の取組概要

参加農業者数 (件)	取組面積 (ha)

第3 取組実績

取組メニュー	取組の実績
ア 土壌診断による施肥設計	
イ 生育診断による施肥設計	
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入	
エ 堆肥の利用	
オ 汚泥肥料の利用 (下水汚泥等)	
カ 食品残渣など国内資源の利用 (エとオ以外)	
キ 有機質肥料 (指定混合肥料等を含む。)の利用	
ク 緑肥作物の利用	
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用	
コ 低成分肥料 (単肥配合を含む。)の利用	
サ 可変施肥機の利用 (ドローンの活用等を含む。)	
シ 局所施肥 (側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用	
ス 育苗箱 (ポット苗) 施肥の利用	

セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。）	
ソ 地域特認技術の利用 ()	
タ 有機農産物、特別栽培農産物の生産に取り組んでいる、環境保全型農業直接支払交付金の交付を受けている等、全作付面積の半分以上を占める作物又はこれに準ずる作物群のうちの2品目以上で化学肥料の3割低減を大幅に超える取り組みが行われていることを証明できる。	

(注) 参加農業者が、実施期間を通じてどのような取組を行ったか、また、その結果として、取組前と比べてどの程度の化学肥料の低減が図られたかを、使用記録等を参照し、できる限り定量的に記入してください。

第4 化学肥料の使用量の低減に向けて継続的に取り組むための取組計画